

## いわき市文化政策ビジョン ヒアリング内容 (文化施設の学芸員等)

実施日時	12月8日 (AM9:30~11:00)	12月8日 (PM2:00~3:30)	12月9日 (PM1:30~2:30)
対象委員	E 氏	F 氏	G 氏
Q1. 市民生活において、文化芸術に求められる役割は何ですか。また、その役割を果たすために必要とされる具体的な取組は何だと思いますか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆生活の中での文化芸術の割合を増やす⇒文化芸術が高まる</li> <li>◆地域ならではの文化的特性は、年月を経て洗練され、文化的度合いが増す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆現在の状況 (音声設備などが不良) における、見学での入館料が高い</li> <li>◆展示室の案内設備がほぼ不良</li> <li>◆イベントに合わせて無料開放するとか、館内ボランティアをしてもらう代わりに無料にするとかの仕組み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆その人が持っている興味や知的好奇心を満たす</li> <li>◆自分の興味以上の新たな発見がある⇒より興味を広げるきっかけとなる⇒新たな更なる好奇心に繋げていく</li> <li>◆疑問を解決するための糸口となることを知ってもらう</li> <li>◆PR・広報に力を入れる。文化施設のやっていることをわかってもらう</li> </ul>
Q2. 文化芸術が市民生活において求められる役割を果たすために、行政や各種団体等の文化芸術関係者に対して望むこと、期待することは何ですか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆特に個人所有の財産が震災以降廃棄・散逸され、貴重な文化財が失われている</li> <li>◆各文化施設が所有している財産には、掘り下げられるものがいっぱいある</li> <li>◆施設は充分ある。持っているものが活用しきれていない</li> <li>◆いわき市には、資料等の貴重な財産を保管できる博物館的な施設がない</li> <li>◆各施設のコンセプトが違うので、なかなか連携が難しいところがある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆デジタルミュージアムは入口としてはいいが、そこで止まらないほしい</li> <li>◆情報は今どこでも見られる⇒実際に体験してもらうことが大切⇒どうやって来てもらうか⇒来て触れる、気づき⇒その後の広がり期待</li> <li>◆体験学習の回数が増やせれば人は結構来ると思うが、現在の人員では精一杯</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆常設展示を変えるための予算がほしい</li> </ul>
Q3. 文化芸術の振興を図るためには、何が大切だと思いますか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆広報は一緒でも、企画によって来る人数は違う⇒広報の方法をいろいろ考えたが、やっぱり企画力 (財源の充実)</li> <li>◆HPの活用 (事業団内でも見せ方が統一されていない)</li> <li>◆いわきの魅力をコンパクトに見せる取組⇒各施設の目玉をパネル・模型にし、いろいろな場所で展示 (巡回) し、実際に現場で見せる</li> <li>◆皆がみんな文化芸術に敏感になればいいわけではない</li> <li>◆いわきが持っている財産になるべく触れやすくする</li> <li>◆子どもたちに目を向ける (多感な時期にいかに触れるか)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆子どもへの体験機会の提供</li> <li>◆市内の施設や企画が網羅して見れるものがあるといい</li> <li>◆施設ツアーの案 (モデルコース) を提示する</li> <li>◆施設としては、10代後半~20代前半が来ない</li> <li>◆関東からの結体験学習への参加者は多い (化石好きの子どもには有名な施設) ⇒市内の認知が低い</li> <li>◆いろいろな企画を結びつけて実施する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆施設のPR、広報⇒興味ない人にどうさせるか</li> <li>◆学校や社会福祉との連携が必要</li> <li>◆見るだけでなく触れることで理解が深まる</li> </ul>
Q4. 今後、将来にわたってまちの活力や魅力を生み続けていくため、本市における文化芸術が目指すべき姿とは？	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆じゃんがらはいわきだけ (家族の絆、踊り、音楽など) ⇒いろいろな要素が詰まっている総合芸術⇒死守しなければならない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆子どもへの体験機会の提供⇒実際に体験させること⇒興味がひろがる⇒気づき</li> <li>◆試掘などをさせると、本 (イメージ) と実物が繋がらない⇒図鑑が正解ではないことを身をもって体験させる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆市にはいいものがいっぱいあるのに活かしきれていない</li> <li>◆現状では、市全体の文化芸術はあまり盛んではなく、市民全体としての意識は低いイメージ</li> <li>◆施設を使用してもらうとっかかりから広げていく</li> </ul>
【自由意見】	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆じゃんがら甲子園</li> <li>◆中田横穴</li> <li>◆天冠埴輪</li> <li>◆アニメーション</li> <li>◆温泉場</li> <li>◆博物館があれば</li> <li>◆事業団では月1回各施設担当者会議を開催している</li> <li>◆事業費も足りないし、人も足りない</li> <li>◆文学は人の一生を変える力がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ジオパークの展開 (地質にはかなり恵まれた土地)</li> <li>◆今年はアンモと文歴の入館者数が伸びている (テレビ番組と刀展の影響)</li> <li>◆レプリカの充実</li> <li>◆年1~2校の高校が修学旅行でくる。大学生も実習でくる</li> <li>◆バックヤードツアーやレプリカ作りWS等の企画</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆体験学習への参加者の年齢層は比較的幅広い</li> <li>◆小学校三年生の遠足コースになっている (昔の暮らし) ⇒施設への来館や体験学習などは、教育委員会ではなく、学校と直接行っている</li> <li>◆民話の語りWS、わら細工WSなどは伝承郷ならではの</li> <li>◆イメージとしていわきは炭鉱⇒フラダンス⇒文化芸術として突出しているものがない</li> <li>◆いわきならではのじゃんがらを大切にしたい⇒じゃんがらWSなどの開催</li> </ul>

12月9日 (PM2:30~3:30)	12月10日 (PM2:00~3:30)
H 氏	I 氏
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆人々が心豊かに潤うための要素</li> <li>◆自分を豊かにしていくもの</li> <li>◆なくてはならないもの、モチベーションを上げるもの</li> <li>◆これから進んでいくために、昔の人が何を残してくれたかを知ること</li> <li>◆伝統芸能、無形民俗文化財などが動画で見れるサイトがあれば</li> <li>◆伝統芸能とかのアーカイブが見れば</li> <li>◆寄贈された財産を収蔵する場所がない</li> <li>◆施設にフリーで見に来た方へのガイドがよわい</li> <li>◆QRコードで説明を見せる(ポータブルを貸し出して)</li> <li>◆ボランティアガイドがよくやってくれている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆文化施設数、学芸員の数、予算は他の中核市と比較すると劣っている</li> <li>◆中核市で博物館、文書館がないのははずかしい(ハコ物が中途半端感がある)</li> <li>◆メリハリのある予算配分</li> <li>◆震災で古文書が散逸している⇒残していくには、古文書館などを作って集める(そんな立派なものじゃなくて、廃校などを活用して)</li> <li>◆文化施設の中でも、直営と指定管理が分かれている⇒力の入れ方に偏りがある</li> <li>◆文化振興課にも学芸員を配置(美術館に学芸員が多い)</li> <li>◆公民館などでの生涯学習活動は、それぞれが一生懸命やっている</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆いわきには凄い芸術家が埋もれている⇒それがわかる仕組みがあれば</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆訪れて観たいのは本物⇒そういった意味での観光資源はたくさんある</li> <li>◆観光とうまく結びつけるものはある(例:相馬野馬追)</li> <li>◆平城とかを利用すればシンボルになる</li> <li>◆資源はけっこうある(未来づくりセンターでやっていた)⇒うまく活用し、交流人口を増やす⇒アンモがうまくいっている(来館者の半数以上が県外から)</li> <li>◆施設間の連携(同じ系統(アンモとホルル)でも連携されていない)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆いわきには色々なものがある⇒自分たちの身近にいいものたくさんあるのを知ってもらう取組み</li> <li>◆街歩き(地域学)⇒市の歴史を知ること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆資料とか文化財を収蔵できる場所が必要(廃校とか)</li> <li>◆人物に焦点をあてる(偉人が結構いるので紹介する)</li> <li>◆歴史(常盤)・文化・自然(潮目)的な背景がいわきらしさ</li> <li>◆首都圏のエネルギー基地となってきた</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ガイドボランティア、花と野菜作りボランティア、年中行事ボランティア⇒事業への市民参加がされている</li> <li>◆企画展示室の貸館⇒市民展とかが開催され、来館者数に繋がっている</li> <li>◆伝承郷だけでやっている年中行事を発信する取組み</li> <li>◆いわきの歴史が見れる所があると(総合博物館があれば)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆じゃんがら</li> <li>◆文学賞は審査員次第</li> <li>◆アンモはうまくいっている⇒海浜自然の家と宿泊施設として連携(市外からの誘客)⇒うまく回っている一例⇒指定管理者が同じなので、連携が図りやすい</li> <li>◆震災前は各施設の館長会議があったが、補助金が切られてから無くなった</li> <li>◆アクアマリンはいい取組み(企画)をやっている</li> </ul>